

第1回 Kavli IPMU アーティスト・イン・レジデンス (AIR) プログラム参加作家展

野村康生 | 平川紀道 | 春山憲太郎



本展覧会では、本プログラムに参加した絵画、メディアアート、彫刻の各分野一名ずつの三名の作家が新作を展示するとともに、多様な専門家による関連イベントを多数行います。アーティストと科学者間で行われた交流を、多くの方と共有する機会となれば幸いです。

に、約一か  
月間アーティスト  
が滞在し、研究者が研究  
しながら作品の制作を行いました(アー  
ティスト・イン・レジデンスプログラム)。

Kavli IPMU AIR

科学と美術が会う時、それはいつも思いがけない巡り会  
で、時に私達にとって大きな意味をもつものを生みます。例  
えば20世紀初頭、パリで科学と美術が邂逅(かいこう)した  
ときには、ピカソ、デュシャンを筆頭に多様で活発な文化が  
生まれています。21世紀初頭の今、日本にある基礎科学  
の研究所であるカブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli  
IPMU)にて、再び科学と美術の邂逅が試み  
られます。

Kavli IPMUは、数学と物理学と  
天文学で宇宙の謎を解き明  
かそうとする研究所  
です。

この研

2018年3月9日(金) - 25日(日) // // // // // カマタ\_ソーコ

休室日: 月曜

開室時間: 12:00-18:00(火-木), 11:00-20:00(金-日・祝)

会場: カマタ\_ソーコ(東京都大田区萩中3丁目22-7)

料金: 無料

主催: 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli IPMU) 協力: @カマタ 助成: 日本学術振興会(JSPS)

問い合わせ先: 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 広報 Tel: 04-7136-5981(本企画担当: 坪井), E-mail: koukai-kouza@ipmu.jp

\*本展覧会は日本学術振興会(JSPS)科研費「自然科学と哲学・芸術の融合を触発するアウトリーチ活動の研究」(17H00286)の助成を受けたものです。

# 再<sup>n</sup>邂逅する科学と美術の試み、2018 東京

*an attempt on the re<sup>n</sup>- encounter between Science and Art, 2018 Tokyo*

*an exhibition featuring artists participated in the Kavli IPMU Artists in Residence (AIR) program*



12:00 - 18:00 (Tue - Thu),  
11:00 - 20:00 (Fri, Sat, Sun, Public holidays)  
closed on Mondays  
Entrance Free

## 関連プログラム

※特に記載のないものは、[会場]カマタ\_ソーコ [定員]40名 [料金]無料 [申込]不要 (但し、当日先着順にて整理券配布。定員に達し次第締切)。  
※諸般の事情により事前の予告無しに変更となる場合があります。

<p><b>13</b>火 14:00-14:30 <b>ガイドツアー</b> [定員]20名</p>	<p><b>17</b>土 14:00-15:00 <b>Kavli IPMUのサイエンスから3 現代数学って何してるんですか?</b> [出演] 阿部知行 Kavli IPMU 准教授(数学)</p>	<p><b>9</b>金 19:00- <b>Opening Party</b> [定員]なし</p>	<p><b>10</b>土 14:00-17:00 <b>Kavli IPMU AIR プログラムを考える シンポジウム 科学論と美術論から考える 基礎×科学×美術</b> [出演] 奥村大介(東京大学特任研究員(科学文化論)), 沢山遼(美術批評), 池田暁志(Kavli IPMU 特任研究員(数学)), 砂山朋美(Kavli IPMU 特任研究員(天文学)), 野村康生, 平川紀道, 春山憲太郎, 他</p>	<p><b>11</b>日 10:00-16:30 <b>Kavli IPMU AIR プログラムを考える ワークショップ 真×善×美から考える科学 の基底と美術の基底</b> [出演] 桑原俊介(上智大学助教(美学)), 丸山善宏(京都大学助教(論理学)), 山崎雅人(Kavli IPMU 准教授(理論物理)), 野村康生, 平川紀道, 春山憲太郎, 他 [会場] 多摩六都科学館 [定員]48名 [料金]無料(別途入館料が必要) [申込] 要事前 申込(申込は多摩六都科学館のHPから。2月26日申込締切。)</p>
<p><b>20</b>火 14:00-14:30 <b>ガイドツアー</b> [定員]20名</p>	<p><b>21</b>水祝 14:00-15:30 <b>Kavli IPMUのサイエンスから2 シャボン玉と時空 Soap bubbles and spacetime</b> [出演] Will Donovan Kavli IPMU 特任研究員(数学)*英語による講演。通訳なし。This event will be in English.</p>	<p><b>24</b>土 14:00-15:30 <b>人工意識から見る Kavli IPMU AIR プログラム</b> [出演] 金井良太 (ARAYA Inc., CEO)</p>	<p><b>25</b>日 14:00-15:30 <b>オルタナティブから見る Kavli IPMU AIR プログラム</b> [出演] 小川希(Art Center Ongoing 代表)</p>	

## 出展作家 / Artists

### 野村 康生 / Yasuo NOMURA

1979年生まれ。2004年武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。「現代科学が想定する高次元理論から絵画を再考する」ことをテーマとしている。2015年、Kavli IPMUのAIRに参加。主な展覧会は「VOCA展2018」(2018/上野の森美術館/東京)、個展「Dimensionism」(2017/hpgrp GALLERY TOKYO/東京)、個展「Here and There」(2016/hpgrp GALLERY NEW YORK/ニューヨーク)など。2016年に理化学研究所脳科学総合研究センターと共同企画を実施。



野村康生, Noctis Labyrinthus No.03, 2017年, credit Yasuo Nomura

### 平川 紀道 / Norimichi HIRAKAWA

1982年生まれ。もっとも原始的なテクノロジーとして計算に注目し、コンピュータプログラミングによる数理的処理そのものや、その結果を用いたインスタレーションを中心に作品を発表。2016年、Kavli IPMU AIRで作品「datum」シリーズの制作に着手し、豊田市美術館、札幌国際芸術祭イベントで発表。2017年、チリの標高約5,000mに位置するアルマ望遠鏡でのレジデンスを経てシリーズ最新作を制作開始。また池田亮司氏、三上晴子氏らの作品制作への参加、ARTSAT (Art and Satellite) プロジェクトのアーティストティックディレクション等も行う。



平川紀道, datum, 2017年, credit Norimichi Hirakawa

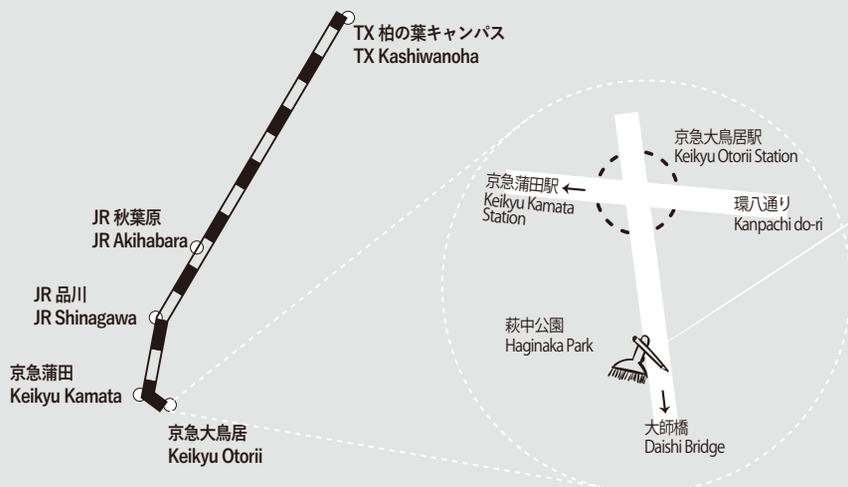
### 春山 憲太郎 / Kentaro HARUYAMA

1974年生まれ。2005年 The Slade School of Fine Art, University College London MFA 修了。活動は、架空の建築物の一部を制作して実在のスペースに導入する他、仮説としての彫刻のプラン模型の制作などに及ぶ。2018年にKavli IPMU AIRに参加。主な展覧会は、「Design」(2012/Radi-um von Roentgenwerke AG/東京)、「掌10」(2011/Radi-um von Roentgenwerke AG/東京)、「Plastic」(2007/The Slade School of Fine Art/London)など。現在東京にて活動。



春山憲太郎, untitled, 2005年, credit Kentaro Haruyama

## 交通 / How to get there



カマタ\_ソーコ  
KAMATA\_SOKO

東京都大田区萩中3丁目22-7  
3-22-7, Haginaka, Ohta-ku, Tokyo  
京急大鳥居駅 徒歩5分  
5min Walk from Keikyu Otorii Station